

清水区で見られた巨大火球と焼津市に落下した韻石について

著者	寺田 昭
雑誌名	静岡地学
巻	94
ページ	19-19
発行年	2006-11-22
出版者	静岡県地学会
URL	http://doi.org/10.14945/00024812

清水区で見られた巨大火球と焼津市に落下した隕石について

寺 田 昭

1. 1952～1953年?頃静岡県静岡市清水区大平を超低空で通過した巨大火球について

これは、私が2005年5月に、かつて清水市の森林組合長でもあらせられた清水区大平の石垣昌平様宅を訪ねたときに聞いたお話をまとめ内容もチェックもしていただいている(石垣様は、この件は遭遇した村人から聞いたとのことである)。

昭和27～28?年頃の2月頃に、大平の村人たち7～8人が朝の4時30分頃、炭焼きに行くため大平の県道上を南から北へ歩いていて、村から1 kmほど奥の現在の大平キャンプ場のあたりへ来たとき、大轟音とともに巨大火球が超低空で北から南へ通り過ぎて行った。人々の中には仰天し、腰が抜けそうになり、しゃがみこむ人や、頭に熱気を感じる人もあった。大火球の尾の長さは10 m以上あり、火の粉がバラバラ散るように見えたとのことである。「駿河湾に落ちたのではないか?」そして「静岡新聞にも載ったのでは?」と話してくれた(なお私は、この件の新聞記事探しをまだやっていない)。なお、昌平様の奥様も、朝食事を作っていて、轟音や外が明るくなったのに気が付いたとのことである。

この件をご存知の方は、著者(〒421-2113 静岡市葵区安倍口団地5-41-8 Tel.054-296-5937)までご一報頂きたい。

2. 1945～1955年?頃静岡県焼津市石津海岸沖(現在の小川漁港沖)に落下した隕石について

これは現在、静岡県地学会会員でもあらせられる山下二郎様から伺ったお話をまとめ、内容もチェックしていただいている。

1945～1955年?(だいたい時間が過ぎたため、幅を持たせたが、おそらくは昭和20年代後半とのこと)頃(月日は不明)の夜8時～10時頃に、焼津市石津海岸(当時は通称「和田浜」と言っていた)の沖に隕石が落下し、新聞(おそらく静岡新聞)にも載ったようである。外を歩いていた人によれば、あたりが真昼のように明るくなったとのことである(音については不明)。そして、当時から志太郡大井川町上泉にお住まいになっている山下様のお宅にも衝撃振動が伝わったとのことである。この衝撃振動は、隕石落下による衝撃より、むしろ隕石が飛行中の弾道衝撃波によるものと思われる。石津の人たちも隕石探しをやったが見つからない。なお私は、この件の新聞記事探しをまだやっていない。

この件につきご存知の方は、著者までご一報頂きたい。